

イベント予告 薩摩偉人維新伝心隊による
「維新演劇シアター」2024

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。

1月1日、元日に上演ありますよ!是非熱いステージをご覧ください!



上演スケジュール

演目 西郷さんイトさんの「愉快痛快!?来て来て西郷さんち!」

〈日 程〉2025年1月1日(水・元日)
〈上演時間〉12:30～13:00(30分間)
〈会 場〉維新ふるさと館 地下「維新体感ホール」
〈観 覧 料〉無料(入館料のみ)

イベント予告 こままわし・おりがみあそび
体験会を開催します!

こままわしあそび体験会とおりがみあそび体験会を下記の日程で13時から16時まで開催いたします。季節感や鹿児島の文化・自然・風習等、色々な種類のこままわしやおりがみを通して楽しんでいただきたいと思います。

皆様の参加をお待ちしております。



開催スケジュール

2025年1月11日(土)「こままわし体験会」
維新ふるさと館1階 ゆくさ おさいじやした通り特設コーナー

2025年2月22日(土)
「おりがみあそび体験会(オツのコンボ)」
維新ふるさと館1階 あそんでみやんせコーナー

温故地新

ふる 故きを 温ね、たず 地元を新たに。

■「薩摩の武家屋敷群『麓』を歩く3」
～薩摩の武家屋敷群『麓』と

島津義弘館跡を訪ねる～

24名の参加者の皆さんと副館長兼歴史解説員の佐々木幸男先生と一緒に、始良市内の麓と史跡を散策しました。

今回は薩摩武士の暮らしに知ることに加え、島津義弘の生き方や人生に触れる一日となりました。昼食は蒲生茶廊zenzaiで屋敷の中の造りやお庭を見ながら体に優しい美味しいお食事をいただきました。

ご参加いただいた皆さんありがとうございました。



明治維新を分かりやすく、楽しく
維新
ISHIN
2025 WINTER
維新ふるさと館情報紙/No.50



「我に奇策あるに非ず、唯正直あるのみ」
松方正義

(松方正義の像:鹿児島市下荒田1丁目)

維新を歩く

1年ほど前、甲突川の武之橋下流右岸の公園で見かけた銅像は何という人か教えてほしいという観光客からの電話がありました。役所に聞いたが対応した職員が分からず、維新ふるさと館を紹介されたとのこと。松方正義のことだと分かり、一通り説明すると喜んで電話を切られましたが、地元鹿児島でも知名度はその程度でした。

正義は、天保6年(1835)、現在の下荒田1丁目で城下土松方家に生まれました。両親が早くに亡くなり借金で厳しい生活の中、剣術・弓術・馬術や学問に励み、斉彬、久光、忠義に仕えました。

明治政府では官僚・政治家として活躍し、経済面で力を発揮しました。明治14年(1881)正義が大蔵卿となった当時、日本では、政府や国立銀行が不換紙幣を増刷したことにより紙幣の価値が急落し、急激な物価高(インフレ)となっていました。この時、英国は日本政府に対し、英国の専門家に指揮を委ね、5,000万円の外債を募集する方法を提案しました。これに対して、松方が発したのがタイトルの言葉です。紙幣の価値が下がったの

は人民が政府を信用していないからであり、正直に計画を伝え、不換紙幣を取り除き、政府が銀貨を蓄え、それと釣り合う兌換紙幣を発行するというまっすぐな策を実行すれば、人民が政府や紙幣を信用するようになり、紙幣の価値は安定すると考えたのです。正義は、期限を限り、各省にも経費緊縮を実行させ、新設した日本銀行で信用度の高い銀兌換券を発行しました。これにより銀貨100円に対して紙幣166円だった価格差は5年後には解消し、危機を乗り越えることができました。一方、デフレが不況を招き、農産物の価格が下落し、多くの農民が土地を手放し、小作化が進むという問題も起こりました。

しかし、返済のめどのない外債を導入し、その後の外国介入の危険性を回避したことは大きいことでした。松方は、その後2度総理大臣を務め、金本位制を確立したことも大きな功績です。

正義没後100年であった令和6年(2024)は、企画展や新聞の連載記事もあり、正直に危機解消に取り組んだ薩摩の官僚・政治家の偉業を知ることができました。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)



新年あけましておめでとうございます。

維新ふるさと館は、今年も鹿児島県の歴史観光施設として、郷土の歴史を「楽しく、分かりやすく」紹介してまいります。

令和7年は江戸時代、薩摩藩士たちが多くの犠牲を出しながら今の岐阜県で行った治水工事「宝暦治水」の竣工から270周年を迎えます。

今回はこれにちなみ作成した、「宝暦治水」に関連したクイズをお楽しみください。

クイズ正解者の中から抽選で、素敵な景品をプレゼントいたします。

みなさんのご応募、お待ちしております。

【応募方法】

■WEBによる応募

こちらのQRよりご応募ください。→



■ハガキ又はFAXによる応募

ハガキ又はFAXで、①答え(1~5) ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号を記入し、「維新ふるさと館 新春クイズ 係」宛に送る。

※当選者には、景品の引換券をお送りします。景品は、当館にて引換券と交換でお渡しいたします。

【応募締切】

令和7年1月20日(月) 必着

【送り先・問い合わせ】

〒892-0846 鹿児島市加治屋町23-1
鹿児島市維新ふるさと館 新春クイズ 係
TEL 099-239-7700 FAX 099-239-7800

※応募いただいた方の個人情報は、抽選及び景品引換券の発送のみに使用いたします。

宝暦治水270周年記念新春クイズ

Q1 濃尾平野を流れ、伊勢湾に注ぐ「木曾三川」は、大雨が降るとしばしば氾濫して、周囲に大きな被害をもたらしていました。

この木曾三川と呼ばれる3つの川の名前は何でしょうか。

Q2 木曾三川の治水工事は「宝暦治水」と呼ばれ、幕府の命で薩摩藩によって行われました。これは幕府が各藩の勢力を抑えるために用いた土木事業によるものといわれています。

このような土木事業を何というのでしょうか。

Q3 宝暦治水工事は、1年3か月もかかり、工事に係る費用のほとんどは薩摩藩が支出したといわれています。

その支出額は当時の通貨でいくらだったでしょうか。

Q4 宝暦治水工事に従事した薩摩藩士は、総勢947人にも及んだと言われていますが、この工事を指揮した総奉行は誰でしょうか。



Q5 この工事は過酷な労働環境による病死や幕府側の理不尽な仕打ちなどを受け、自害する薩摩藩士が多発し、犠牲者の総数は80人を超える事態となりました。

これら犠牲者は、現在の三重県や岐阜県等の複数の寺に葬られています。最も多く葬られている寺はどこでしょうか。

答え

1 川・ 川・ 川

2

3 約 万両

4

5 寺



イベント 第17回西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展

西郷が没した9月24日をはさむ9月21日(土)～10月20日(日)まで30日間、西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展が開催されました。

今年も県内外から多くの作品が集まり、小・中学校の部と高校・一般の部に1,566点、そのうち特別賞・特選・入選に487点が決定しました。

表彰式には埼玉、岡山、大阪、愛媛など県外からも出席があり、賑わいました。



▲西郷南洲大賞

▲受賞作品

イベント予告 令和6年度

「歴史シンポジウム」開催!



▲昨年度の様子

毎年、好評の歴史シンポジウムを今年も開催いたします。令和7年は岐阜と鹿児島の交流のきっかけとなった宝暦治水工事が竣工して270年にあたります。

宝暦治水の実像について明確にし、薩摩の在来技術を生かしながら御手伝普請を成し遂げたこと、苦難を乗り越えた薩摩義士の顕彰を行うことの意義を明らかにしたいと思います。皆様のご応募お待ちしております。

イベント詳細

テーマ「宝暦治水 工事竣工270年、その実像と現在」

〈日 程〉2025年2月23日(日) 13:30～16:30

〈会 場〉鹿児島県歴史・美術センター黎明館 講堂(入場無料)

〈定 員〉215名(事前申込み) ※応募多数の場合は抽選

〈講 演〉「木曾三川治水史上の奇跡ー宝暦治水の実像ー」

講師/丸山 幸太郎氏(岐阜女子大学教授・地域文化研究所長)

〈シンポジスト〉宇都 大作氏(劇団上町クローズライン代表)、田中 ロイジ氏(ナレーター) 肥後 秀昭氏(鹿児島市維新ふるさと館特別顧問)

〈進 行〉佐々木 幸男(維新ふるさと館副館長兼歴史解説員)